

中小企業景況調査報告書

平成28年度第1・四半期（4～6月）

浅野公園



Asano Park

一宮市観光協会提供

目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- ・調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- ・調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- ・調査の実施（方法） 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- ・調査対象企業数 100事業所。

- ・調査対象企業の業種 次の表のとおり

（1）景況調査対象事業所（100）の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
（繊維製造業）	（49）
（その他製造業）	（12）
卸売業	12
小売業	11
サービス業	9
合 計	100

（2）繊維製造業対象事業所（49）の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	6
織物製造業	23
染色整理加工業	8
縫製加工業	3
そ の 他	9
合 計	49

- ・分析手法
 - 1．DI（Diffusion Index）分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 - 2．DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。
- ・分析項目
 - 1．前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 - 2．前期比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り
- ・その他の分析
 - 1．設備投資 実施状況数
 - 2．経営上の問題点 各項目をポイント加算

}	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

今 期 の 概 況

景況は足踏みがみられるが、設備投資は増加している。

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1、3参照)は、売上、採算、資金繰りDI値で、前期実績を上回り、業況、従業員のDI値で、前期実績を下回った。

来期は、従業員DI値で、今期実績を上回り、業況、売上、採算、資金繰りのDI値で、今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

業況DI値は、前期実績 17.0 から 21.0 (4.0ポイント減)となり、来期は 22.0 (1.0ポイント減)となる見通し。

売上DI値は、前期実績 20.0 から 16.0 (4.0ポイント増)となり、来期は 23.0 (7.0ポイント減)となる見通し。

採算DI値は、前期実績 22.0 から 16.0 (6.0ポイント増)となり、来期は 21.0 (5.0ポイント減)となる見通し。

資金繰りDI値は、前期実績 12.0 から 9.0 (3.0ポイント増)となり、来期は 13.0 (4.0ポイント減)となる見通し。

従業員DI値は、前期実績 1.0 から 4.0 (3.0ポイント減)となり、来期は 1.0 (3.0ポイント増)となる見通し。

繊維製造業の状況

今期(表2、5参照)は、売上、採算、従業員DI値で、前期実績を上回り、業況、資金繰りのDI値で、前期実績を下回った。

来期は、資金繰りDI値で、今期実績を上回り、業況、売上、採算、従業員のDI値で、今期実績を下回った。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表7、8参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で、前期実績を上回った。

指標別の状況

業況DI値は、前期実績 25.0 から 4.0 (21.0ポイント増)となった。

売上DI値は、前期実績 35.0 から 3.0 (32.0ポイント増)となった。

資金繰りDI値は、前期実績 15.0 から 7.0 (8.0ポイント増)となった。

繊維製造業の状況

今期(表9、10参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で、前期実績を上回った。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(31件、22事業所)に比べ件数、事業所とも増加している。

今期の実績(表4、6参照)は39件(27事業所)。その主な内訳は、『生産設備』12件、『O A 機器』9件、『付帯施設』5件となっている。

来期の計画(表4、6参照)は34件(22事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』13件、『O A 機器』7件、『工場建物』5件、『車両・運搬具』5件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表11参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（製造業 <織物>）

三菱の軽自動車のカーシートの製造を行っている。今回の不祥事で仕事がなくなると危惧していたが、普通車の仕事が入り、逆に忙しい状況である。

B 社（製造業 <織物>）

昨年から生産は好調である。アパレル業界は、今年に入り、比較的高額商品（ブランド商品）と低価格商品との二極化している。中間的な商品は低迷しており、当社はやや高額商品にシフトしている。

C 社（製造業 <染色>）

染料価格が上昇したことから、業況は厳しい。また、原油価格も値上がる予想から先行き不安である。以前は、6月から10月頃まで繁忙期であったが、取引先が見込み生産から受注生産に切り替えたことから、繁忙期の期間が短く（6・7月の2ヶ月）なり、加えて短納期対応を要求されるようになった。

D 社（製造業 <繊維・その他>）

世界中で羊毛が減少していることも影響し業況は不変。中国を中心に羊肉需要が増えたことから、食用羊の生産にシフトしたものと考えられる。また、大手化学メーカーの原料（アクリル等）価格が高値で推移している。

E 社（製造業 <食料品>）

今年の冬は、暖冬であったこと、野菜が豊富で安価であったことなどから、当社製品の販売は思った以上に売れなかった。

F 社（製造業 <印刷>）

顧客による自主作成およびペーパーレス化によって市場は縮小傾向にある。一貫生産するべく新設備を導入し、売上向上を図っていきたい。

G 社（卸売業）

昨年11月以降、婦人衣料の低迷が続き、流通在庫が増えている。また、一部代金の回収が遅れ気味となっている。

H 社（小売業）

4月以降、販売は増加しており、実感として業況は回復基調に転じている。消費税の再延期により、来期もプラス基調が続くと予測している。

I 社（サービス業）

伊勢志摩サミット関連の警備の仕事を受注したことから、今期の売上は前年比プラスとなっている。ただ、一時的な受注であり、来期以降は不透明である。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H27. 4～6月	H27. 7～9月	H27. 10～12月	H28. 1～3月	今 期 H28. 4～6月	来期の見通し H28. 7～9月
業 況	7.0	▲10.0	▲12.0	▲17.0	▲21.0	▲22.0
売 上	9.0	▲ 5.0	▲10.0	▲20.0	▲16.0	▲23.0
採 算	2.0	▲ 5.0	▲16.0	▲22.0	▲16.0	▲21.0
資金繰り	1.0	▲12.0	▲12.0	▲12.0	▲ 9.0	▲13.0
従 業 員	0.0	3.0	2.0	▲ 1.0	▲ 4.0	▲ 1.0

景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H27. 4～6月	H27. 7～9月	H27. 10～12月	H28. 1～3月	今 期 H28. 4～6月	来期の見通し H28. 7～9月
業 況	20.4	▲12.5	▲14.6	▲20.8	▲30.6	▲32.7
売 上	28.6	▲10.4	▲18.8	▲25.0	▲24.5	▲30.6
採 算	14.3	▲ 4.2	▲12.5	▲25.0	▲20.4	▲22.4
資金繰り	0.0	▲14.6	▲12.5	▲14.6	▲16.3	▲12.2
従 業 員	▲ 6.1	14.6	8.3	▲ 4.2	4.1	2.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	1 (2)	7 (2)	2 (1)	1 (1)	1 (0)	12 (6)	▲ 21.0 (▲22.0)
	不変	5 (4)	31 (37)	7 (10)	6 (7)	6 (8)	55 (66)	
	悪化	1 (1)	23 (22)	3 (1)	4 (3)	2 (1)	33 (28)	
売上	増加	2 (1)	8 (4)	2 (2)	1 (2)	4 (1)	17 (10)	▲ 16.0 (▲23.0)
	不変	3 (3)	30 (35)	8 (8)	7 (6)	2 (5)	50 (57)	
	減少	2 (3)	23 (22)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	33 (33)	
採算	好転	1 (1)	7 (4)	2 (0)	1 (1)	2 (1)	13 (7)	▲ 16.0 (▲21.0)
	不変	4 (4)	35 (38)	8 (11)	7 (7)	4 (5)	58 (65)	
	悪化	2 (2)	19 (19)	2 (1)	3 (3)	3 (3)	29 (28)	
資金繰り	好転	0 (0)	4 (2)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	7 (2)	▲ 9.0 (▲13.0)
	不変	6 (6)	46 (48)	11 (12)	8 (9)	6 (8)	77 (83)	
	悪化	1 (1)	11 (11)	0 (0)	3 (2)	1 (1)	16 (15)	
従業員	増加	0 (0)	12 (7)	0 (1)	1 (1)	2 (1)	15 (10)	▲ 4.0 (▲1.0)
	不変	7 (7)	39 (47)	8 (9)	9 (10)	3 (6)	66 (79)	
	減少	0 (0)	10 (7)	4 (2)	1 (0)	4 (2)	19 (11)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	27	来期	計画している ※2	22
	(事業所数)	実施していない	73	(事業所数)	計画していない	78

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	2 件	3 件	5. 付帯施設	5 件	0 件
2. 工場建物	4 件	5 件	6. O A 機器	9 件	7 件
3. 生産設備	12 件	13 件	7. 福利厚生施設	2 件	1 件
4. 車両・運搬具	4 件	5 件	8. その他	1 件	0 件
			合計	39 件	34 件

複数回答可

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	6	23	8	3	9	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	1 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	1 (1)	4 (2)	▲ 30.6 (▲32.7)
	不変	4 (5)	13 (12)	2 (5)	2 (3)	5 (4)	26 (29)	
	悪化	1 (1)	10 (11)	4 (2)	1 (0)	3 (4)	19 (18)	
売上	増加	2 (2)	3 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (3)	▲ 24.5 (▲30.6)
	不変	3 (3)	11 (11)	3 (6)	3 (3)	5 (5)	25 (28)	
	減少	1 (1)	9 (11)	4 (2)	0 (0)	4 (4)	18 (18)	
採算	好転	2 (2)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	5 (4)	▲ 20.4 (▲22.4)
	不変	4 (4)	14 (14)	4 (6)	2 (2)	5 (4)	29 (30)	
	悪化	0 (0)	8 (8)	3 (2)	1 (1)	3 (4)	15 (15)	
資金繰り	好転	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	▲ 16.3 (▲12.2)
	不変	5 (5)	19 (21)	6 (6)	3 (3)	6 (6)	39 (41)	
	悪化	0 (0)	4 (2)	2 (2)	0 (0)	3 (3)	9 (7)	
従業員	増加	0 (0)	5 (3)	2 (1)	0 (0)	1 (1)	8 (5)	4.1 (2.0)
	不変	4 (5)	17 (19)	5 (6)	3 (3)	6 (7)	35 (40)	
	減少	2 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (1)	6 (4)	

※ 採算は経常利益で判断

新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	14	来期	計画している ※2	11
	(事業所数)	実施していない	35	(事業所数)	計画していない	38

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	1 件	5. 付帯施設	1 件	0 件
2. 工場建物	3 件	2 件	6. O A 機器	3 件	4 件
3. 生産設備	7 件	8 件	7. 福利厚生施設	1 件	0 件
4. 車両・運搬具	2 件	0 件	8. その他	0 件	0 件
			合計	18 件	15 件

複数回答可

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H27.4～6月	H27.7～9月	H27.10～12月	H28.1～3月	今期 H28.4～6月
業況	5.0	▲ 8.0	▲ 5.0	▲25.0	▲ 4.0
売上	19.0	2.0	2.0	▲35.0	▲ 3.0
資金繰り	5.0	▲ 6.0	▲ 8.0	▲15.0	▲ 7.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	1	9	1	1	3	15	▲ 4.0
	不変	6	38	8	8	6	66	
	悪化	0	14	3	2	0	19	
売上	増加	3	17	2	2	5	29	▲ 3.0
	不変	2	27	5	3	2	39	
	減少	2	17	5	6	2	32	
資金繰り	好転	0	4	0	0	2	6	▲ 7.0
	不変	6	47	12	9	7	81	
	悪化	1	10	0	2	0	13	

景況の推移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H27.4～6月	H27.7～9月	H27.10～12月	H28.1～3月	今期 H28.4～6月
業況	12.2	▲14.6	▲14.6	▲33.3	▲6.1
売上	30.6	▲4.2	▲18.8	▲45.8	▲2.0
資金繰り	2.0	▲6.3	▲10.4	▲20.8	▲12.2

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	6	23	8	3	9	49	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	1	2	4	0	1	8	▲6.1
	不変	5	14	3	3	5	30	
	悪化	0	7	1	0	3	11	
売上	増加	2	5	4	0	2	13	▲2.0
	不変	3	12	1	3	3	22	
	減少	1	6	3	0	4	14	
資金繰り	好転	1	0	1	0	0	2	▲12.2
	不変	5	20	5	3	6	39	
	悪化	0	3	2	0	3	8	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○民間需要の停滞	○官公需要の停滞	○請負単価の低下・ 上昇難
繊維製造業	○需要の停滞	○製品ニーズの変化 への対応	○製品(加工)単価の 低下・上昇難
製造業 (繊維製造業は除く)	○需要の停滞	○製品ニーズの変化 への対応 ○製品(加工)単価の 低下・上昇難 ○従業員の確保難	○生産設備の不足・ 老朽化
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○商品在庫の過剰
小売業	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化	○消費者ニーズの 変化への対応 ○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難
サービス業	○従業員の確保難	○人件費の増加	○需要の停滞

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	9
下請単価の上昇	1
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	6
熟練技術者の確保難	2
下請業者の確保難	2
官公需要の停滞	10
民間需要の停滞	12
その他	0
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
新規参入業者の増加	2
製品ニーズの変化への対応	41
生産設備の不足・老朽化	33
生産設備の過剰	1
原材料価格の上昇	31
原材料の不足	1
人件費の増加	10
原材料費・人件費以外の経費の増加	6
製品(加工)単価の低下・上昇難	37
金利負担の増加	1
取引条件の悪化	9
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	21
熟練技術者の確保難	21
需要の停滞	49
その他	1
合 計	271

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	9
生産設備の不足・老朽化	8
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	4
原材料の不足	0
人件費の増加	6
原材料費・人件費以外の経費の増加	0
製品(加工)単価の低下・上昇難	9
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	5
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	9
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	14
その他	0
合 計	72

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	5
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3
商品在庫の過剰	6
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	4
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	2
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	3
需要の停滞	24
その他	0
合 計	62

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	11
同業者の進出	1
購買力の他地域への流出	3
消費者ニーズの変化への対応	8
店舗の狭隘・老朽化	3
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	4
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	5
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	4
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	4
需要の停滞	8
その他 (インターネット通販)	3
合 計	56

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
利用者ニーズの変化への対応	2
店舗施設の狭隘・老朽化	2
人件費の増加	12
人件費以外の経費の増加	1
利用料金の低下・上昇難	2
材料等仕入単価の上昇	3
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	15
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	5
その他	0
合 計	45

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

図 1

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

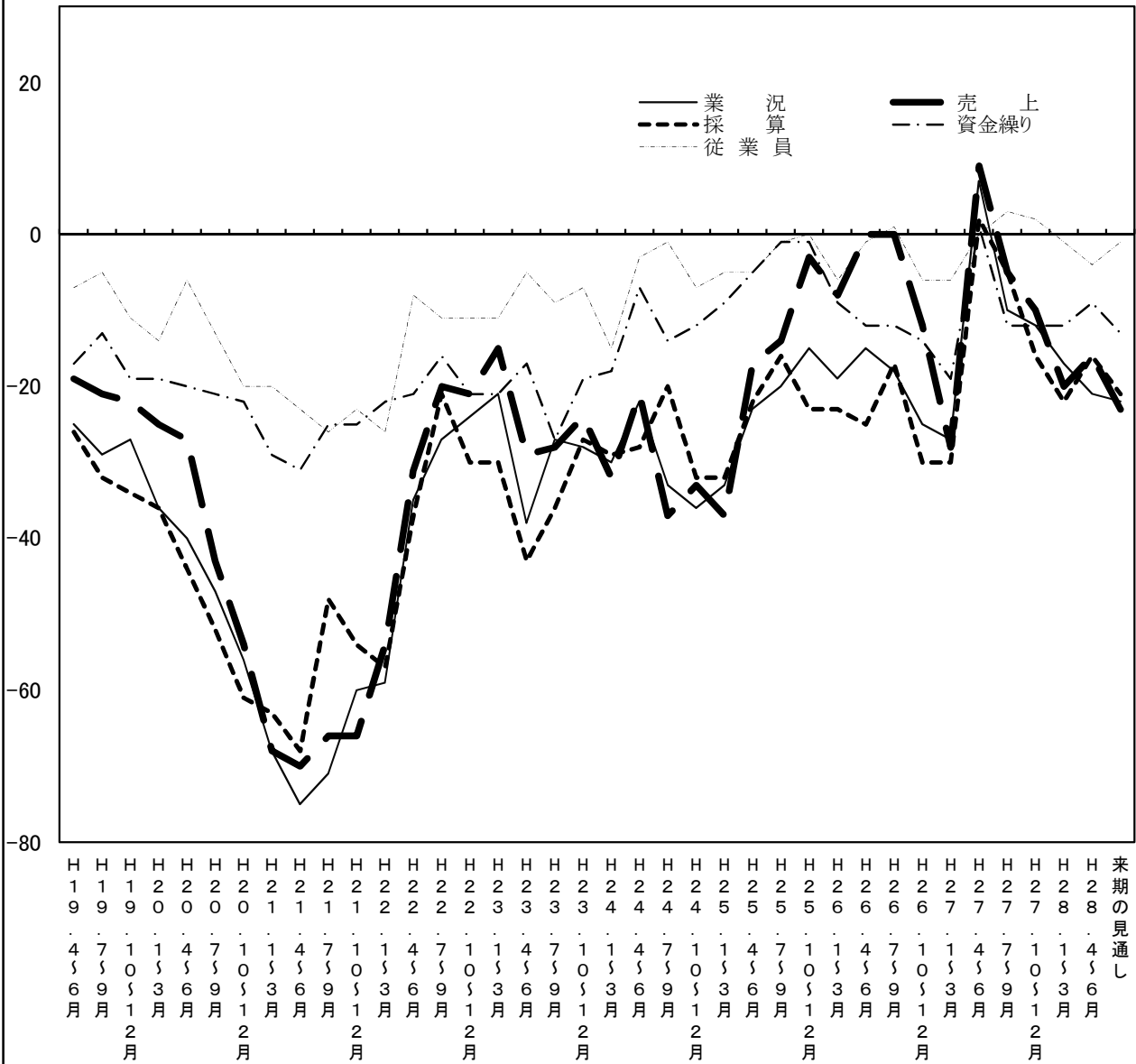


図 2

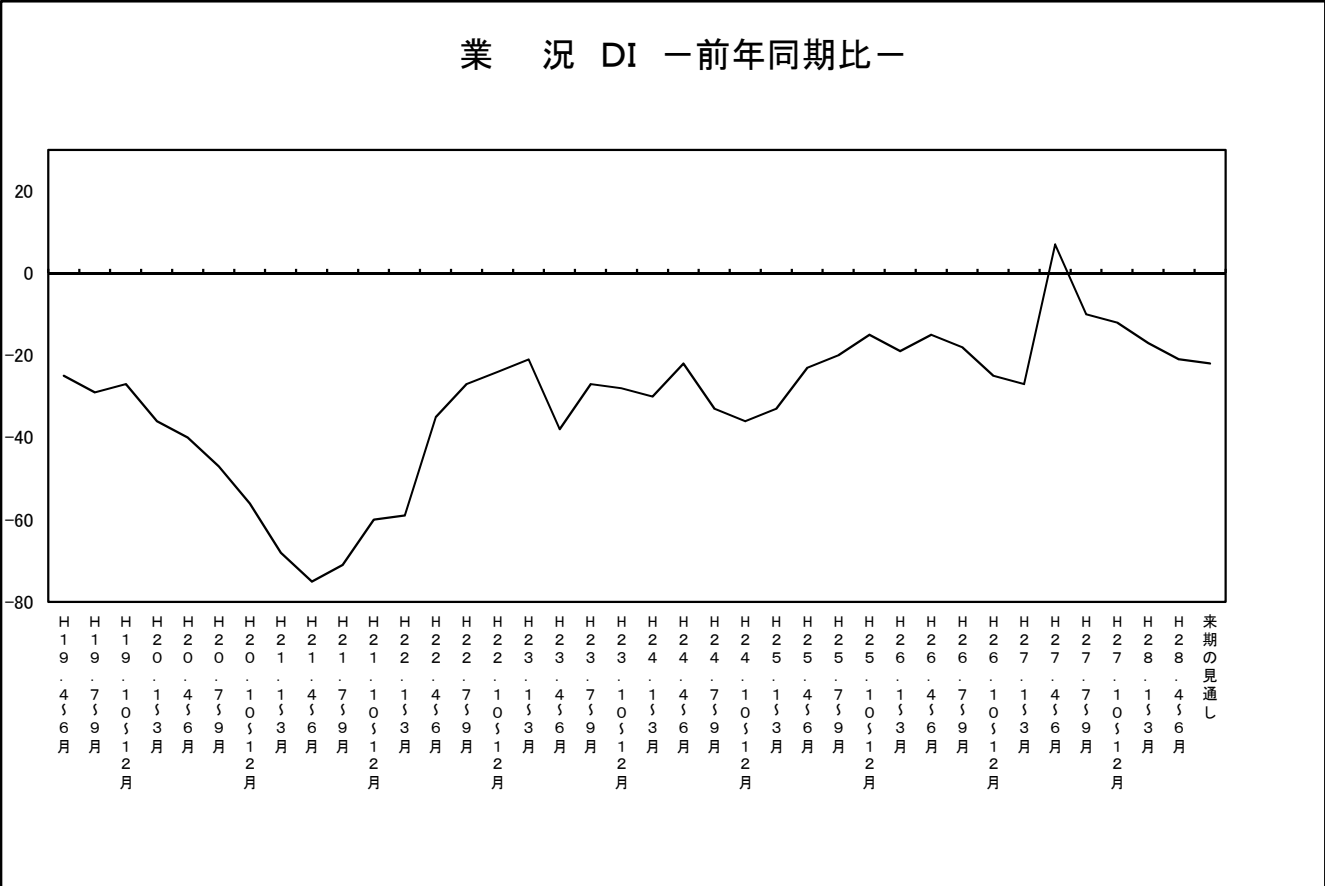


図 3

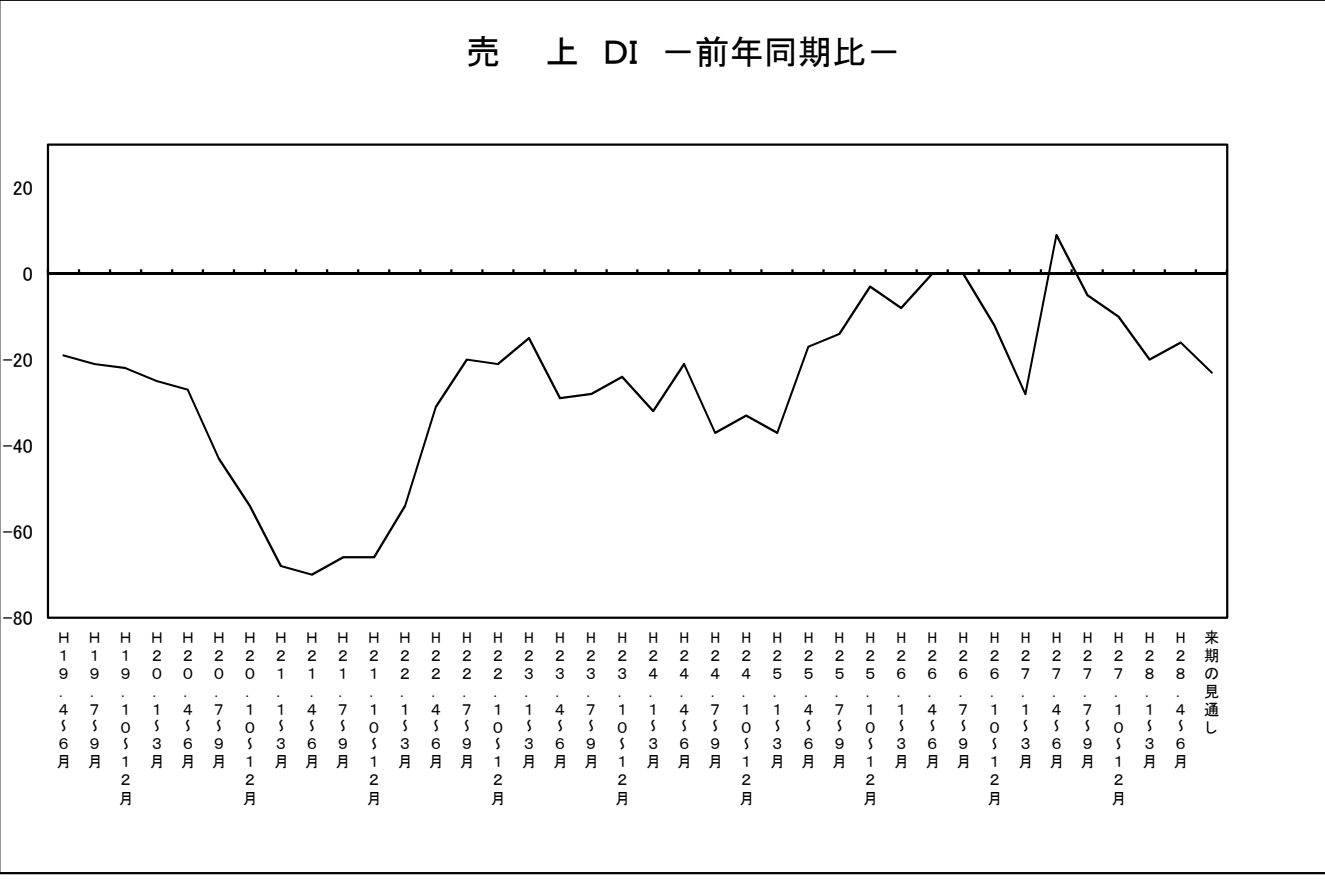


図 4

採 算 DI - 前年同期比 -

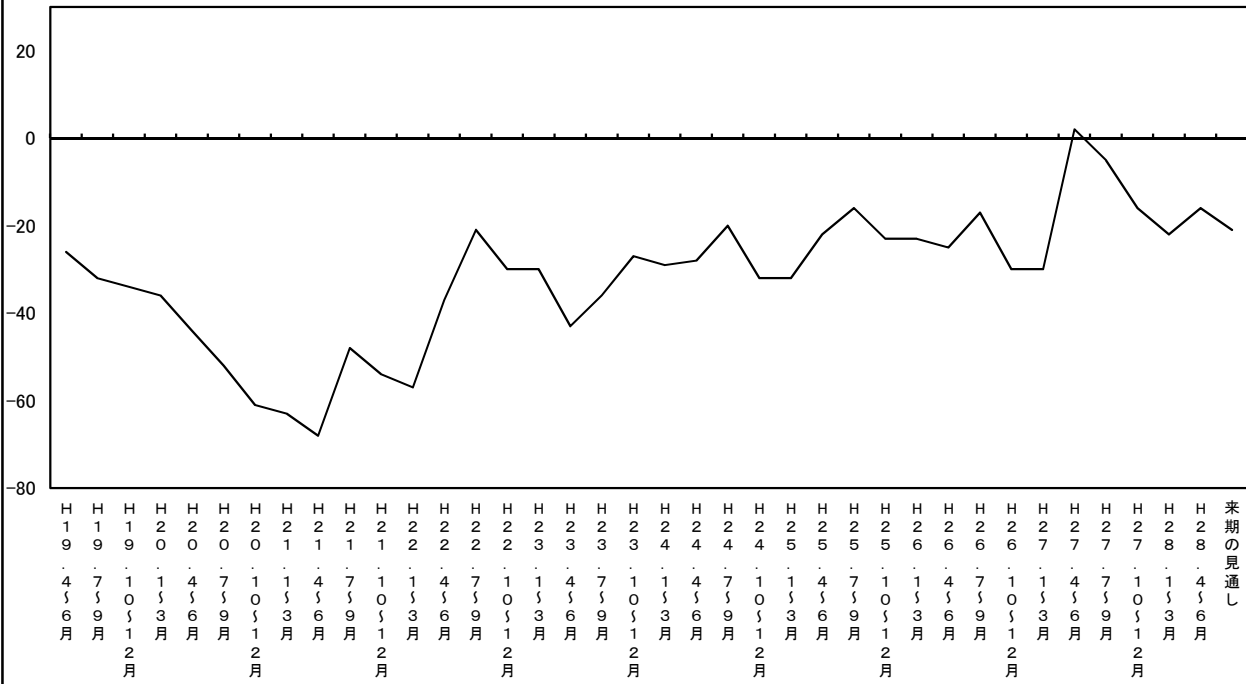
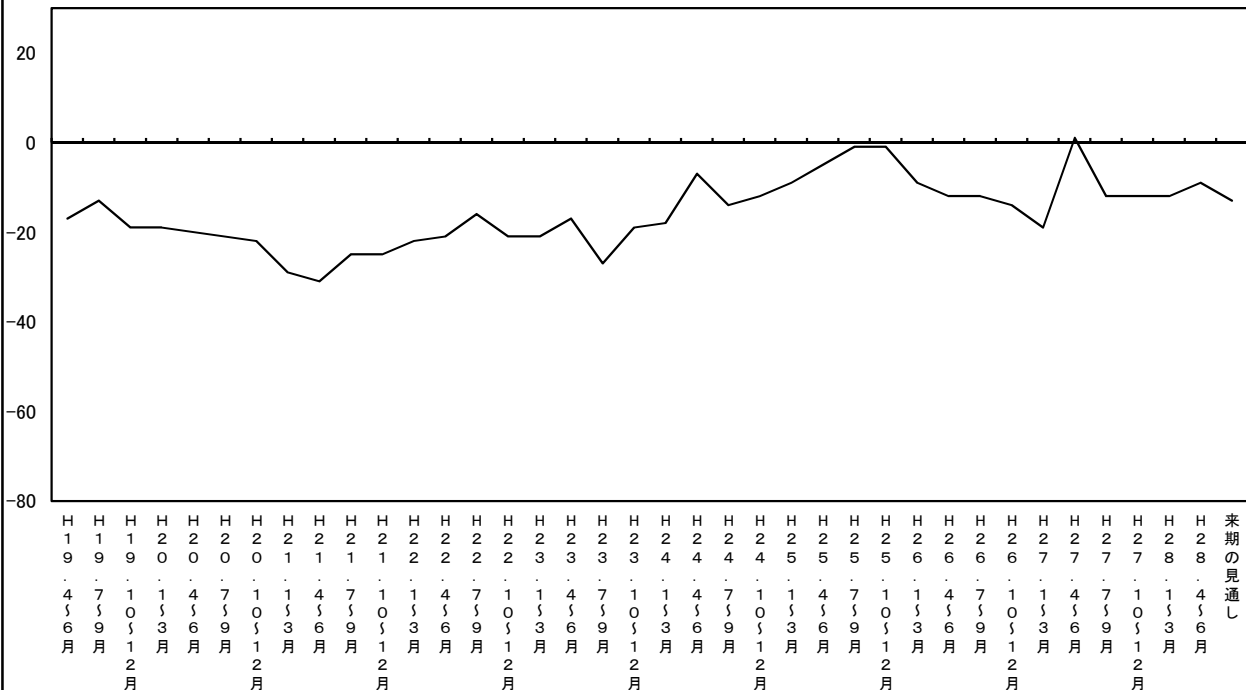
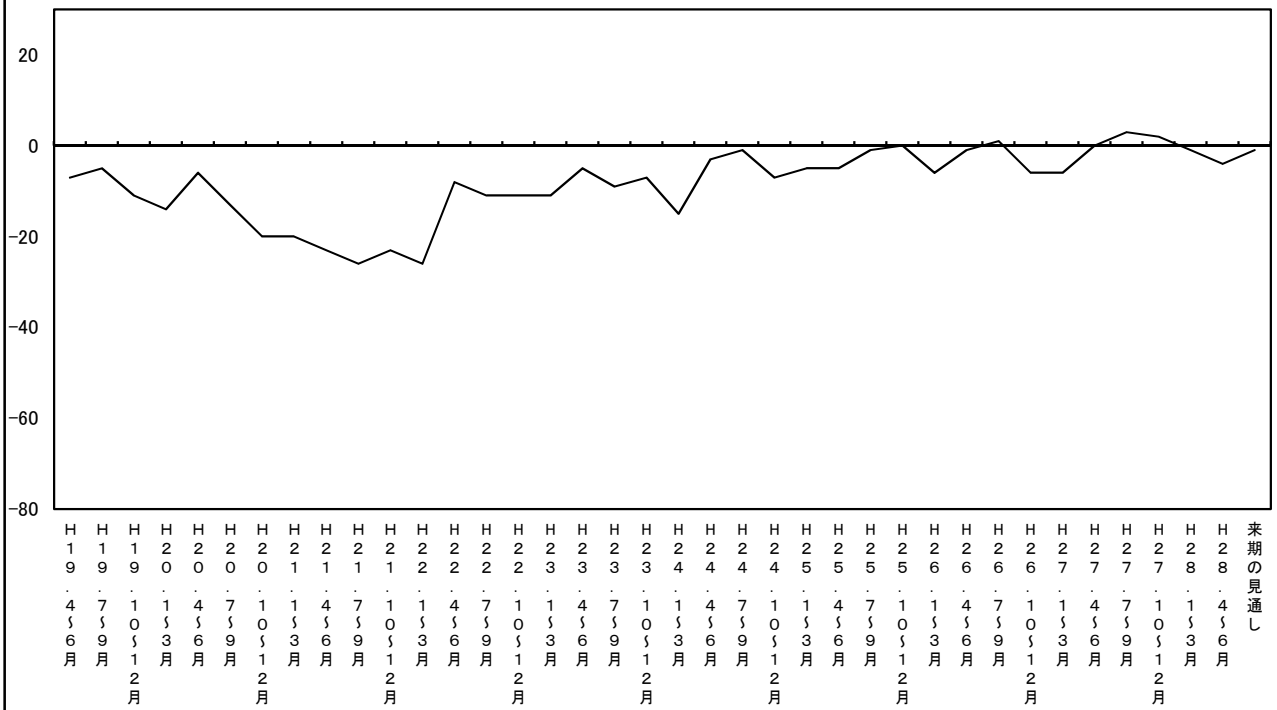


図 5

資金繰り DI - 前年同期比 -



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp